

～ 学校だより ～
初志貫徹
しよしかんてつ

4月号

＜本校の在籍＞
1年(90名) 4年(94名)
2年(85名) 5年(107名)
3年(101名) 6年(105名)
全児童数(582名)
学級数(23) ※特支援学級(5)



うるま市立 赤道小学校

住所 〒904-2245 うるま市字赤道 921 番地
電話 (098) 973-1218 FAX (098) 974-7124
発行者 校長 幸喜 徹(こうき とおる)
発行日 平成 31 年 4 月 12 日(金)

平成 31 年度も「チーム赤道」職員一致団結してがんばります！

4月を迎え、校庭には色とりどりの花々が咲く季節となりました。この良き日に、真新しいランドセルを背負ったピカピカの1年生90名が、お父さん・お母さんに手を引かれ、嬉しそうな顔で登校してきました。また、1学期始業式では1学年ずつ進級した2～6年生が新しい担任の先生や友達と初顔合わせを行い、子ども達の表情からは、「新しい仲間と楽しくやっぴいこう」という意気込みを感じました。



そうした子ども達の様子を見て、私共教職員も子ども達の期待に応えられるよう「チーム赤道」の下、がんばっぴいこうと決意を新たにしたところです。

平成 31 年度の赤道小学校は、児童数 582 名、職員数 45 名でのスタートとなります。重点目標である「児童一人ひとりにあった適切な教育支援の下『どの子も輝く赤道っ子』の育成」を目ざし、日々の実践に取り組んでいきます。今後とも御支援・御協力の程よろしくお願い致します。

「がんばりノート」が「かがやきノート」に変わります！

本校の今年度の家庭学習ノートの目標冊数は6冊です。子ども達には自分の力に合わせた学習により、目標を達成して進んで学ぶ赤道っ子をめざして欲しいと願っています。



つきましては、子ども達のがんばりを褒め称え、「自ら学ぶ家庭学習」の習慣化を図ることをねらいとして、今年度は3冊・6冊に到達した皆さんを下記のように奨励することとなりました。

御家庭での子ども達への激励もよろしくお願ひします。

尚、家庭学習ノートのネーミングが「がんばりノート」から「かがやきノート」変更したことを申し添えます。

◇3冊達成した児童 ⇒ 家庭学習ノート1冊を配布

◇6冊達成した児童 ⇒ 家庭学習ノート1冊と賞状を配布

徒歩登校、チャレンジしてみませんか！

新学期、朝の登校時の様子を見ていると、保護者と共に登校をする子、兄弟・姉妹で登校する子、乗用車で登校する子等様々です。特に、兼簡段区等遠方からの通学、あるいは子ども達の安全・安心の確保のため、お車での登校も見られますが、子ども達の体力の向上や登校時の安全確保、又は学校周辺道路の混雑解消のためにも、本校では今年度も、可能な限り「徒歩登校」を奨励してまいります。御協力の程よろしくお願ひします。

尚、お車での送迎の際の「降車場所やその方法」については、学校周辺にお住まいの皆様にご迷惑がかからぬよう特段の配慮を頂くようお願ひします。



新元号「令和！」

4月1日に新元号が「令和」が発表されました。それにちなんで、1学期の始業式では、次のことをお話ししました。

この令和という元号には、「心を寄せ合う」という意味もあるようです。すばらしい元号ですね。みなさんが、学校で生活していると、友だちとの仲がうまくいかないことや、自分の思い通りにならないことがよくあります。そんな時、人のせいにしたり、周りの人を責めたりするのではなく、新しい元号の意味のように、お互いが心を寄せ合い、「温かい言葉(いいよ、いいよ、だいじょうぶ、がんばったね、あなたのせいじゃないよ、一緒にやろうよ)等の励ましの言葉」が飛び交う赤道小学校にしてほしいと校長先生は強く願っています。



ご家庭においても、新元号「令和」について話し合っぴい頂き、子ども達が日々活用できるようになれば幸いです。

コミュニティ・スクール(市民協働学校)
～地域社会に開かれた教育課程の推進～

学校運営協議会と実働組織

<p>〇付け応援隊 地域寺小屋</p> <p>学びコミュニティ 教頭・学年主任・保護者代表</p>	<p>地域清掃活動 朝の読み聞かせ</p> <p>心を育むコミュニティ 教頭・学年代表①・保護者代表</p>
<p>体育授業支援 330運動</p> <p>体カコミュニティ 教頭・学年代表②・保護者代表</p>	<p>交通安全見守り 防犯腕章の奨励</p> <p>安全安心コミュニティ 教頭・専科・特支援・保護者代表</p>

家庭の学校支援 学校の家庭教育支援

地域の学校支援 学校の地域貢献・委運

うるま市では、今年度より全小中学校において、コミュニティ・スクール(市民共同学校)が行われます。左記はそのイメージ図となりますが、本事業を通し、学校と保護者・地域がより強固につながりとなり、子ども達の健やかな成長につなげることができればと考えます。

裏面もご覧ください！